

やまがた認知症カフェ通信 2018 5月号

平成30年5月15日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

山形県認知症施策推進行動計画が改訂されました！

県では、認知症になっても安心して生活できる地域社会の実現を目指し、認知症施策の具体的な目標と達成のための工程及び手段を定める「山形県認知症施策推進行動計画」を策定しています。(平成28年1月)

この度、各施策の取組状況と課題及び新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)の改訂(平成29年7月)を踏まえ、本計画を平成30年3月に改訂しました。

本計画では、平成30(2018)年度から平成32(2020)年度末までを新たな計画期間と定め、具体的な数値目標を設定しています。計画のポイントは次の3点です。

◆ 基本目標1「認知症の正しい知識の普及促進」

認知症に対する正しい知識を持ち、認知症の方や家族を暖かく見守る「認知症サポーター」の更なる養成を図ります。また、サポーター活動の好事例普及により県内への普及拡大を図ります。

目標指標 (例)認知症サポーターの養成数 H32年度末:15万人(H29年度末:121,765人)

◆ 基本目標2「医療と介護分野の対応力の向上及び連携の強化」

認知症の容態に応じて切れ目なく医療・介護サービスを提供できるよう認知症ケアパスに沿ったケアの普及拡大を図ります。

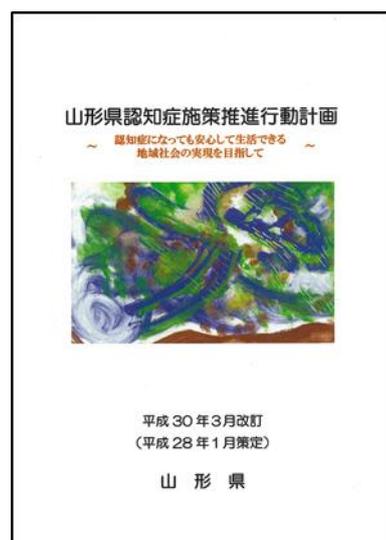
また、身近な地域で認知症の症状に早期に気付く環境を整え迅速な対応につなげるため、医療及び介護従事者向けに研修を行い、認知症対応力の向上を図ります。

目標指標 (例)認知症サポート医の養成数 H32年度末:93人(H29年度末:59名)

◆ 基本目標3「認知症の人と家族にやさしい地域づくり」

認知症相談・交流拠点「さくらんぼカフェ」による取組み支援と充実強化を図ります。

また、若年性認知症に係る関係機関との連携等により支援強化を図ります。



▲山形県認知症施策推進行動計画

次号からは、各基本目標の詳細について触れていきます。

本計画は県ホームページよりご覧いただけます。(県HP内「認知症施策推進行動計画」で検索)

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

「さくらんぼカフェ」平成29年度の来場者数と相談内容から ～今後も利用しやすいカフェに向けて～

本人 163名 (8%)
家族 1093名 (54%)
支援者 360名 (17%)
一般住民 419名 (21%)

さくらんぼカフェは「認知症カフェ」としての取組みのほかに、電話相談・やまがた認知症コールセンターとしての活動もしています。過去3年間の来場者や電話等の相談内容は大きな変化はなく、「認知症の症状について」が多く占めていました。その他の特徴としてオープンから2年間は次に多い項目が「その他」で多様な相談が目立ったのに比べて3年目の平成29年度は「その他」が減少し、相談内容が明確となっています。これからも相談対応だけでなくより良い暮らしに関する情報提供や意見交換、そして仲間づくりとなるよう来場者とともにありたいと考えています。

認知症予防カフェじゃないカフェを！ 認知症サポーターの拠点としてのカフェを！ 社会福祉法人天童福祉厚生会明幸園 認知症カフェ『Mカフェ』



《認知症カフェ『Mカフェ』を平成28年4月オープン》

オランダのアルツハイマーカフェにならって、オープンな認知症カフェとしてスタートしました。身近なモデルは仙台の「土曜の音楽カフェ」。毎月1回、第1土曜日の13:00～15:00に開店。参加者は地域住民、認知症の人とその家族、専門職、毎回30名～40名の皆さんに参加いただいています。定型化した構造による安定感が特徴のダッチスタイルの認知症カフェですから、ミニ講話をはさんでカフェタイム、Q&A(ディスカッション)、クロージングが標準プログラムです。目的は、認知症の人の社会的包摂を図ること、認知症の疾病観を変えること、寛容な地域コミュニティをつくること。そう、志は高くなくちゃね！次回Mカフェは6月9日、ご来店をお待ちしております。アイスコーヒー始めます！

《認知症カフェ『Mカフェ』を拠点とした、認知症サポーター活動活性化事業》

平成29年度県の助成を受け、「認知症カフェ『Mカフェ』を拠点とした、認知症サポーターのスキルアップ及びオーガナイズ事業」(長い!)を実施しました。サポーターから支援者に、その後押しをすること。認知症カフェを拠点として、サポーターの皆さんが活躍する場を作ること。そのための、サポーターの実践力向上、組織化を支援する事業です。グループワークやロールプレイによるフォローアップ講座を計5回開催し、Mカフェや認知症対応型デイサービスでのボランティア体験も企画しました。今年度は自主事業「認サポ・フォローアップ講座(セカンドシーズン)」として開講予定！ご期待ください。お問い合わせ／明幸園地域支援室 電話番号 023-653-3071

インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

若年性認知症の相談窓口について

～仕事や治療との両立・就労継続のために～

若年性認知症は仕事、家事、子育てのキーパーソンとなる世代に起こることから、本人だけでなく家族の生活にも影響が大きいといわれています。また、若年性認知症に対する理解不足から受診をためらい診断が遅れることもあります。若年性認知症支援コーディネーターは若年性認知症の人の視点に立ち、ニーズにあった関係機関やサービス担当者との「調整役」として相談を行っています。社会資源の活用や必要に応じて職場や福祉サービス事業所との連携、居場所作りなど本人が自分らしい生活が継続できるよう支援していきます。どうぞご相談下さい。

新規オープンカフェ

グループホームやすらぎの家(最上町)

平成30年3月16日にオープン!!
施設内で年3回開催
次回は6月27日(水)10:30～12:00に開催します
ので、お近くの方お出かけください。
お待ちしております。

■問合せ先: 電話 0233-43-3125 石山

カフェ情報

「おれんじドア山形」(山形市)

平日は仕事をしている若年性認知症のご本人が休日の1日を仲間と語り合いたいと主催しているカフェです。

■日時: 毎月第1土曜日 13:00～15:00

■場所: さくらんぼカフェ

■参加費: 茶菓子代 100円

■問合せ先: 023-687-0387

発行元: 山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)
電話・来所相談・カフェオープン月曜～金曜日 昼12時～午後4時
TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。